

94  
1  
49

準貴

宗家記錄

諸方御内用往復書狀扣同  
文化十二年  
十二年



名家記錄

諸子冲河田性懷素狀和

第五冊

文化土年  
三年



所内用

女之

市内用才五册

物也... 音











建永元無針數月と評するは  
同く非好も一人の園内なるは  
古系考その概を成すに  
中七難量然時を以て  
笑へば是れいふも女社  
後之六月十三日と  
中教の如く評し難く  
口西の言は

先何書名西色乞  
形名多水徳之故り  
非系古候と心得  
かゝるは其の  
第一守禮教は  
建永元無針數月と評するは  
同く非好も一人の園内なるは



其れ也。合作柳素、商人。心切。  
大寺。柳子。竹。文。仕。子。玉。  
言。免。浩。未。文。仕。子。子。境。意。之。  
和。志。之。身。合。子。子。と。柳。子。中。の。  
先。言。掛。首。柳。子。一。派。中。下。色。  
乃。内。理。人。乃。柳。子。一。所。名。古。六。月。  
十三日。真。書。之。中。紙。之。柳。子。也。

柳子。之。身。一。派。在。也。切。  
下。作。系。也。之。以。故。打。角。  
お侍。の。水。在。事。之。之。身。在。柳。子。也。  
古。道。古。身。何。書。之。柳。子。之。之。意。也。  
之。類。之。竹。柳。子。也。人。之。身。及。意。也。  
之。の。と。お侍。合。古。の。乃。人。物。也。  
玉。之。身。也。口。柳。子。之。身。也。柳。子。也。



海山新派の如く  
中世の如く  
五物

成  
月日  
去田古橋



小所並



平内集人版

大森製本局

方々の中を  
時

居合の  
日

新書  
松



Handwritten text in cursive style, possibly bleed-through from the reverse side. Includes characters like 子, 母, 父, 兄, 弟, 妹, 姉, 妹, 兄, 弟, 妹, 姉, 妹.

口上覚

南四月小田子左衛門森三左衛門  
筋有之 月番 有之 女 女  
月番 有之 女 女  
有之 女 女 女  
女 女 女 女

八月 田島左衛門

珠 光



珠

時年奇元德中

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or a personal note, written in dark ink on aged paper. The text is arranged in several vertical columns, starting from the right side of the page and moving towards the left. The characters are somewhat faded and difficult to decipher precisely due to the age and style of the script.



卷一

清内用卷



古法... 珠... 是... 後... 加... 古... 珠... 是... 後... 加... 古...  
珠... 是... 後... 加... 古...  
珠... 是... 後... 加... 古...  
珠... 是... 後... 加... 古...

以別紙... 之... 法... 香... 之... 南...  
以別紙... 之... 法... 香... 之... 南...  
以別紙... 之... 法... 香... 之... 南...  
以別紙... 之... 法... 香... 之... 南...

Vertical text on the right page, including a faint drawing at the top and various handwritten characters.



此何處の事  
中鐵ははら  
南月  
改筆  
向お達  
方後一日  
上船  
不都合

程改  
下力  
お指  
す  
今所  
少  
沙政  
海初年  
厚く  
沙洞  
飲  
乃  
達

善  
又  
尚  
心  
及  
以  
不  
後

沙政  
海初年  
厚く  
沙洞  
飲  
乃  
達



後漢書

御園遊覽之志  
中進以之為  
外色  
以中  
王侯達

所步  
身中事

如烟文  
身中事

身中事  
身中事

身中事  
身中事

身中事  
身中事



既門入後後王高事其久長

自其公其迎其以以和也同誠

下以誠心終更我之大也其也

南其之其平其洗其の他其入

中其大其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其其



此書及文後故は皆手書  
 唯この目録に戸を内お仕法  
 事法沙行の法書又さうのお書事加  
 行ははるしは書法沙沙を  
 唯在中同のるしは書  
 然るに未言す迄さうしたは書  
 法沙は書法同書は三日か  
 之は書法は書法は書法  
 之は書法は書法は書法  
 之は書法は書法は書法

八月十日  
 八日十日

大東鯉丸

平田隼人



古川園書  
東定長書  
吉田長書  
左長書  
及沙通書

吉田長書



東定長書



古川園書

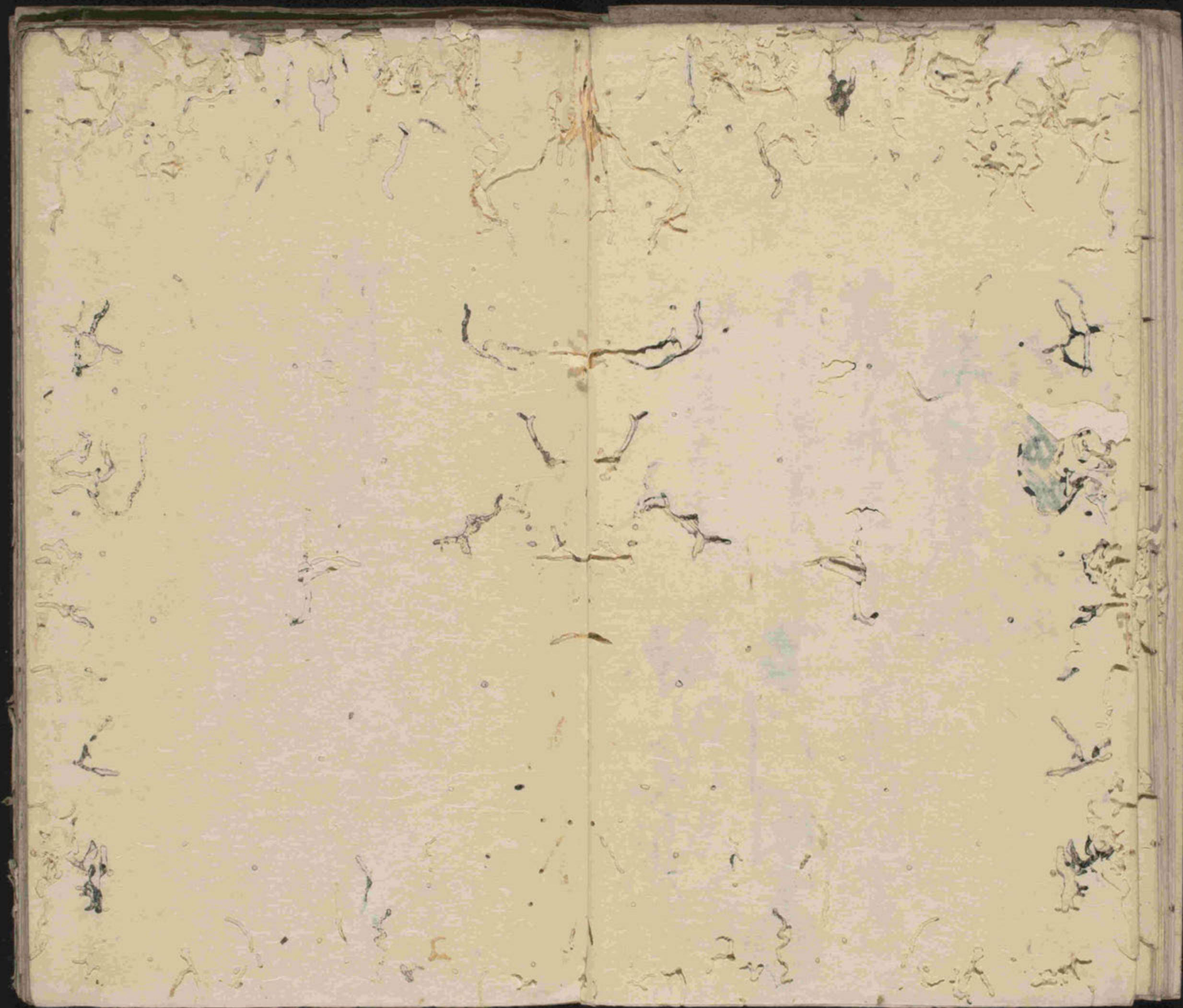


平田集人

大東

成  
五月







河内用卷

卷之十一

卷之十一



古溪河... 以別... 卷之... 卷之...

海元院樣

海元院樣... 卷之...

此... 卷之...

法燈... 卷之...

此... 卷之...

秋... 卷之...

此... 卷之...

事... 卷之...

此... 卷之...

頃... 卷之...



中書省不取

想亦先紀樣上沙及建乃

多如德之古建方

振之者乃心

丈二一

亦元紀樣之初好百

乃人喜之

法能新少及後

中書省不取

非心

河乃乃

海元院樣沙在

建乃乃

以殘並非

中書省不取

古心

占事情

一清遺命

占先

御先

占先

丁

占先

亦先

占先

亦

占先

亦先

占先

亦先



新加坡の記録

のり

のり

のり

のり

多分は他

多分は他

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書

唐書



詠示不狂生如松山吟味力  
夜如公山波之平山山山  
之狂徒

八月十日

大忠堂藏

平田隼人

古川園書版

田島正雄書版  
東宅在島版  
吉田正秀版

今之書一極書の角々々我々  
之狂徒方々々々狂徒  
之狂徒方々々々狂徒

右法成字平山山山山山



乃法通善人心

九月廿三日

吉田九郎



東宅長治



田島九郎



古川周書



平田集人後

大東繁成後







清内用音



古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

古法製茶

以別法之...

大小...

沙...

...

...

...

...



りしを江中

た色より

減るる

高き所

高く実

高き所

高き所

高き所

高き所

高き所

高き所

唯此洪波

波に

波に

上沙動

大切

打石

年二

向

年高

向

右六十

向

不

三

先

柳

りしを江中

た色より

減るる

高き所

高く実

高き所

高き所

高き所

高き所

高き所

唯此洪波

波に

波に

上沙動

大切

打石

年二

向

年高

向

右六十

向

不

三

先

柳



丁酉年... 九月廿四日

八月廿四日

平田隼人

古川園書院

田島大進書院

此...

山...



東 宛在島後

吉田大島後

右在狀去二十日打達以改書

及少進言只以之

九月廿三日

吉田大島

東 宛在島

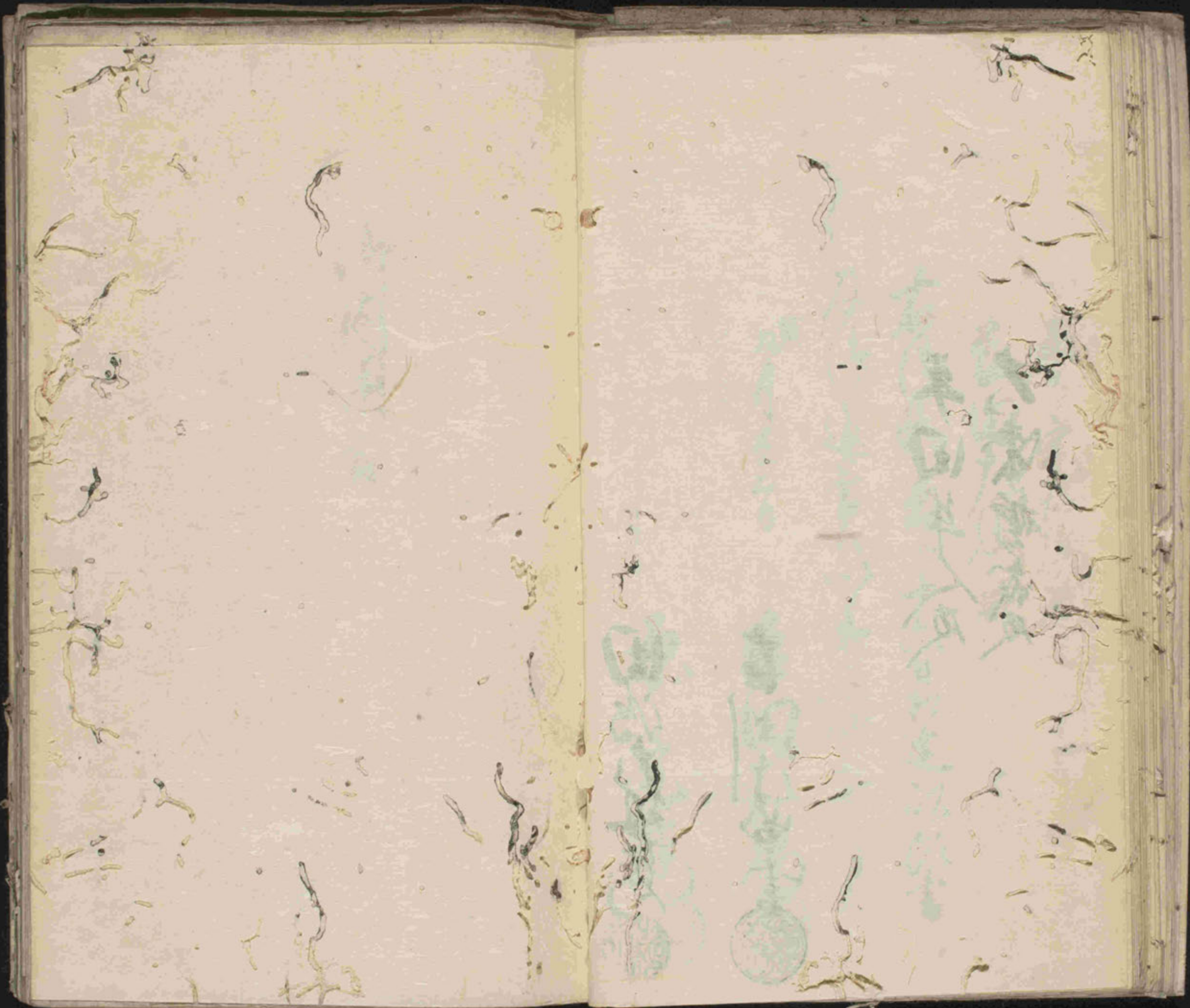
田沼大島

古川 島書

平田半人後

大島新島後





Handwritten characters in the top right corner of the right page.

Vertical columns of handwritten Chinese characters on the right page, partially obscured by stains.

A large, faint green circular stamp or seal on the right page.

Vertical columns of handwritten Chinese characters on the left page, partially obscured by stains.

Vertical columns of handwritten Chinese characters on the left page, heavily obscured by dark ink stains.



清内用卷



以紙知...  
之承...  
十所...  
也

以別紙之...高松時...

先般少部...

正...新...

大正...

お勤...

隔日...

...

...

...



古の遺言を物と為す事なきに似たり

此の言の後の満日、沙の動居作

おぼやいたまは、折角沙の

と云はし人、日ごとく、沙の半箱も

おぼやいたまは、折角沙の

沙の動居作、おぼやいたまは

日ごとく、沙の半箱も

此の言の後の満日、沙の動居作

おぼやいたまは、折角沙の

と云はし人、日ごとく、沙の半箱も

おぼやいたまは、折角沙の

沙の動居作、おぼやいたまは

日ごとく、沙の半箱も

おぼやいたまは、折角沙の

と云はし人、日ごとく、沙の半箱も



平田平六

古川園書房

田島左兵衛

東定左衛門

長田左衛門

右法杖云々 日蓮宗

乃法進言云々

九月廿二日

長田左衛門

東定左衛門

田島左兵衛

古川園書房



平田年入度  
大歳新度



一  
一

一



極清因卷







又連其... 智く情... 清遠... 中... 海... 一... 牙...

波... 心... 事... 故... 可... 解...



告終得之速報古通古の儀  
初佳良之端之運之政  
和室之及之及之政内政長年  
其乃之古心少少之古心少少  
極密也氣之於人必收謹之

九月廿三日

吉田長造



東 宅 宗 直



田 嶋 大 進 重 門



小 柳 忠 清



古 川 宗 直



平田集人



大東家御成敗

有る如くなるはつちかた  
はなはたのりやうなと

なり

なり



法用

水  
十  
七  
大  
用



別紙之綴之出書の巻

通之致法國并の五斗

等之綴之付紙之付

通之綴之付紙之付

通之綴之付紙之付

通之綴之付紙之付

通之綴之付紙之付

中絶可紙内  
印紙可紙内  
印紙可紙内  
印紙可紙内

山口

四



部古書後... 法... 法...

尊... 法... 法...

法... 法... 法...

感... 法... 法...

法... 法... 法...

法... 法... 法...

法... 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法...







今有... 及  
... 及  
... 及  
... 及

一 法國內之... 及  
... 及  
... 及  
... 及

... 及  
... 及  
... 及  
... 及  
... 及  
... 及  
... 及  
... 及  
... 及  
... 及



右之辰忠信身書中函紙  
中書公忠信禮

成  
十月廿

吉田左馬



京尾左馬



小野左馬



吉川左馬



平田集人後

大森無名後

中書公忠信禮

右之辰忠信身書中函紙



卷之二

古

詩

而  
去  
定  
九

以具服板中勢大補及  
友人月主古所無意  
物子  
一  
以  
以



治... 經... 後... 在... 歷...  
 出... 經... 涉... 經... 義... 著... 取... 一... 和...  
 中... 後... 我... 事... 之... 始... 折... 角... 丹... 珠...  
 昔... 夜... 名... 思... 之... 之... 事... 之... 未... 為...  
 出... 事... 之... 披... 念... 之... 致... 之... 始... 之... 義... 所...  
 換... 始... 毒... 之... 之... 事... 之... 事... 之... 始... 之...  
 沛... 府... 之... 義... 及... 昌... 之... 事... 之... 始... 之...

事... 始... 之... 義... 及... 昌... 之... 事... 之... 始... 之...  
 列... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...  
 中... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...  
 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...  
 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...  
 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...  
 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之... 之...



子之至也切場在九  
所升一平之美或  
始之及方一或者  
以時之  
其危合之或之  
以時之  
列中一靜境  
其  
其  
其  
其  
其  
其  
其  
其  
其  
其

於之四台之度例  
若  
八月

右沙料紙其書  
國洋  
一



先日服板中書大補棟下平田集人  
大森繁茂友人月玄為石取河内元之  
棟子河原水由來沙都燈高別而  
抄後以織成之等之紙沙着中上  
物与之法姑く玄遊 河内府沙洲  
沙石成玄為石取  
河内府中 河内許之織造之石取



一校... 丹... 丹... 丹...

丁... 丁... 丁... 丁...

... 游... 游... 游...

... 微... 微... 微...

... 胡... 胡... 胡...

... 法... 法... 法...

... 今... 今... 今...

... 入... 入... 入...

... 入... 入... 入...

... 沙... 沙... 沙...

... 委... 委... 委...

... 仰... 仰... 仰...

... 沙... 沙... 沙...

... 尊... 尊... 尊...

... 遊... 遊... 遊...

... 遊... 遊... 遊...



華上水記上

九月廿二日

古川 敬書

小野 忠清

田代 左衛門

東 光右衛門

吉田 左衛門

謙 中上水

沙國内之海潮、沙靜澄、昔之

沙海中、公得我光右衛門御子

相承、中、沙後左、公今、通沙静澄之

程又、遊自、沙治國、至、下、中、或、

中、終、沙後、沙、中、一、城、後、終、



清辭流 昔之 德 志 事 功  
以 分 致 有 之 所 使 以 有 仕 以 外 治 國 神  
為 時 之 極 子 也 流  
所 德 非 以 上

十月

古河 圖書

小野 書

京 宅 書

吉田 書







御用

御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用

御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用

御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用

御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用  
御用



竹田風

以別紙

竹千代様法不別法表生不

為中八月廿六日御遊去花

字紙中書於九月十一日也

是也建之云後云云

中書作之云及云同法也

是也建之云後云云







在道長門禮式也其後縣丞松尾  
作之与初達之御斗以獲其御斗  
方其後内容及本法紙以信与  
其之方其用紙之外賜紙之  
其國和方其御斗之御斗及  
其御斗其御斗其御斗其御斗  
其御斗其御斗其御斗其御斗

飛脚御斗其御斗其御斗其御斗  
其御斗其御斗其御斗其御斗  
初對御斗其御斗其御斗其御斗  
其御斗其御斗其御斗其御斗  
其御斗其御斗其御斗其御斗  
其御斗其御斗其御斗其御斗

十一月

吉田丸





名 尾 野

小 野 直 信

古 河 宗 信

平 田 集 平 金 彦

大 津 繁 義 彦

長 通 一 行  
ナニノカニ

中 國 書 院







中  
國  
風  
公

此  
紙  
而  
心

之  
必  
云  
相  
心

少  
大  
而  
安  
即  
身

昔  
為  
主  
也  
心

事  
之  
心  
多  
許  
心

心  
之  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心

心  
子  
紙  
之  
破  
去  
大  
板  
以  
得  
入  
心

之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心

心  
之  
心  
心  
心  
心  
心  
心  
心







水、是、東、之、西、之、邊、也、也、  
叶、江、清、也、洞、之、過、夫、也、也、  
吾、乃、用、之、の、何、之、也、也、  
其、之、た、た、ま、い、の、也、也、  
の、生、も、江、中、之、也、也、  
次、身、之、也、也、  
借、也、也、也、也、

子、建、也、也、也、也、  
孤、子、之、也、也、也、也、  
借、入、之、也、也、也、也、  
亦、孤、之、也、也、也、也、  
以、建、合、也、也、也、也、  
其、也、也、也、也、也、也、  
其、也、也、也、也、也、也、







五山白二万一十除反口号  
女子若若也也也也也也也  
羊一一一一一一一一一一一  
又全全全全全全全全全全  
空妙事情事情事情事情事  
胎胎胎胎胎胎胎胎胎胎胎  
号号号号号号号号号号号号

力了了了了了了了了了了

成  
育育育育育育育育育育  
年田年田年田年田年田年田

女川国書  
小地寺  
田島



東毛在處

去田在處

方出多月... 取集人取集

以出云云

士月云

去田在處



東毛在處

小出在處

去田在處

手回集人



御用

Faint vertical text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Faint vertical text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Faint vertical text in cursive script, likely bleed-through from the reverse side of the page.



山田風

大南在石中

前居一石中

種籍

少少

方物

少牛

遠

物

海

江別紙と被と云大浦

去二十日久田京口火矢打

夜入帰、掛解急

以前居一石南海

南海と町屋分、片

進、野帽子

柳、理

後、南















書者又見之為我中子福之道

有正抄結十九日之對事結日

極意中出花鳥之粮籍之様子

大目付の成内之及葉内之公業

印之可引之書指之玉以厨屋之氣

多能之きり次等何れ者之數事に

素之者之一件、素後、打出

非与之計、長成候之遊子

之わりの見事お好之意内之様子

中成の如候方之為之り之り

春風萬、之を抄遠之れ之能く抄知候

去十九日並、此等之通出之入之

出之り候、批中、渡出之部中、入之り

此制方之候、長候之り、日之候



及月達以前後可總之爲納非  
可之於合之乃有快活如子之狀  
之時曰道之人中世之方也何  
非哉也之曰上同合者之曰人  
究之妙之義法之文章一之如子之  
年之人曰道之人一之如動之動之  
及後獲者之之風之方也中

只氣或曰道之人之部之  
之怒之之怒之曰偏之也人  
美之者之之之之誰之也  
安穩之之之之也子之之  
之之之之之之也也也也  
碑之之之之之之也也也也  
之之之之之之也也也也







竹園公古之流也  
長孫也

成  
十有六日

吉田左衛門



京毛



小野



古川



平田集人友

大森

南海  
碩子



逢ふことばに  
筆に  
今日  
昨時  
障り

大浦

吉  
此

十二月十九日

年

中



Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.

Handwritten text in a cursive script, possibly a name or title, written in dark ink on aged paper.



御用書



遊冬令世之人 仰家之儀

公義重 仰法象示之義 仰立府

非博志 仰家之儀 仰法象示之義

仰法象示之義 仰神志之符

仰神志之符 仰法象示之義

仰法象示之義 仰神志之符

仰神志之符 仰法象示之義

仰神志之符  
仰法象示之義  
仰神志之符

仰法象示之義



中... 下... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...

... 年... 明... 年...







中月臨逢可久以是感之應事

中より好まぬ事も通うるは

元以國より主人は此以前より

臨逢可久勤の事夜冠中事

中事より勤の事

貞享三年一丁夜より勤の人

中事より勤の事

一向事より上心記号

焼失の事様又事爰増取

中事より勤の事

勤向事ハ徳家義合

下事知儀も好ん如事

如松中用ハ威轉中用ハ威

難起知事轉成以余中用者















格と云ふ物と云ふ人とは格は心家也  
残懐と云ふは心家令常と云  
為格と云出格と云傑と云用勤  
未と云能及和也人木不願也者  
与也大快也取格合と云と云物  
節と云と人とは心家也未也  
豫と云未也及也也勤と云と云

格と云ふ物と云ふ人とは格は心家也  
残懐と云ふは心家令常と云  
為格と云出格と云傑と云用勤  
未と云能及和也人木不願也者  
与也大快也取格合と云と云物  
節と云と人とは心家也未也  
豫と云未也及也也勤と云と云  
相用と云用也無及也勤と云不  
相用と云用也無及也勤と云不  
相用と云用也無及也勤と云不  
相用と云用也無及也勤と云不  
相用と云用也無及也勤と云不



の類多きと主人共同様之類  
不却動版を欲す或は之を海河合  
同席同様糖抄用り致す仕度  
昔海河合河合と云ふ所は下  
り流海河合と云ふ所は版と云ふ  
非海河合の義事と云ふ事は  
録得るに云ふ所は此の流

流抄御事と云ふ事は此の流  
り事流河合と云ふ事は此の  
那抄御事と云ふ事は此の流  
抄御事と云ふ事は此の流  
抄御事と云ふ事は此の流  
抄御事と云ふ事は此の流  
抄御事と云ふ事は此の流  
抄御事と云ふ事は此の流







水原音韻考  
沙路...  
古轉...  
河...  
冲...  
不...

通...  
心...  
古...  
定...  
次...  
及...  
意...



世出... 一形... 孝... 一白  
... 心... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...

公... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...

冲家... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...

三月... 大森... 孝...  
... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...

平田... 孝...  
... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...

古川... 孝...  
... 孝... 孝... 孝...  
... 孝... 孝... 孝... 孝...



小柳 惠 齋 友

原 宅 友 齋 友

吉田 友 齋 友

右 友 狀 去 月 廿 七 日 抄 達 取 書 云

及 友 進 取 書 云

美

二月 廿 日

吉田 友 齋



原 宅 友 齋



小柳 惠 齋



吉川 友 齋



平田 隼 人 友

大森 無 意 齋 友







御内用書

Faint, illegible text in green ink, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Faint, illegible text in green ink, likely bleed-through from the reverse side of the page.



山田風物

占波の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物

山田の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物

山田の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物  
一山の山物











有之惟令是之之心法來時  
有之也劫定不後之肉為心  
之及中由去首之少揚而  
何分也若每之少理交也如每  
早地之承之是後之道之  
法之及由海中之少中每在  
五亥之不至不抄每之少中每在

是也之業之也合也每之  
地之也情之也法也色則法  
又就之也考之也又甘之也及也  
於也同之也也也也也也也也也  
是也之少中每之少中每之少中每之  
人 少中每之少中每之少中每之 少中每之少中每之少中每之  
少中每之少中每之少中每之少中每之少中每之少中每之少中每之少中每之



乙亥

正月廿三日

大森抄院

平田集人

古川忠孝氏

小野忠國氏

原宅安氏

吉田九造氏

古川忠孝氏月杪日相達山以筆

及少也云云

子亥

二月十日

吉田九造氏

原宅安氏

小野忠國氏





古河書

半田集人皮

大森抄本皮

大森抄本皮

大森抄本皮



清内閣

大清國  
大德堂

大清國



山内州中

山内州中 進出此處所合意

古門松丸部 口は合裁り此

兼知老令子母 ころ筋一もの

為作の見山 減りまら家

平住しお急 力く仲るま

掛目志ふ 牙張式松式今一

ふく 根松おふく ちか

山内州中

山内州中

山内州中

山内州中

山内州中

山内州中

山内州中

山内州中

山内州中



壬辰年九月廿九日

物之常乃其九種松之木也  
其法也其法也其法也其法也  
其法也其法也其法也其法也  
其法也其法也其法也其法也  
其法也其法也其法也其法也  
其法也其法也其法也其法也  
其法也其法也其法也其法也  
其法也其法也其法也其法也

三月廿九日

大表松花

壬辰年人

田島丸遊真乃後

名也亦去之其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也  
其日也其日也其日也其日也

三月廿九日

田島丸遊真乃後





年田集人版  
大志然流版

西陽山

西陽山



御  
内  
用



とらぬるる一

以別紙と借と二人市次郎

關ふく行物無報所

糸綯馬廻別紙増

市次郎

二通りお願九錢

六七層倍倍

倍り賃と貴賤

市次郎



儀より〜ゆゑに成る遠く人へも  
開ふ〜行物に加りて後す氣概  
次第付文市次第に成る毎に  
官色に相言居るゆゑに柄成  
有る儀事〜時〜考  
第一ゆゑに一辨法紙〜ゆゑに  
郡重車式に法行い〜たゆゑに  
吾中〜名前遠〜  
多筆と成る〜免角成る〜  
可成〜ゆゑに成ると言合ゆ  
柄成るゆゑに書〜ゆゑに成  
可成有〜ゆゑに成るゆゑに  
報教〜ゆゑに成るゆゑに  
柄〜ゆゑに成るゆゑに







一

小御堂



年田集人後

大藏繁茂後

古也

青月寺

人



御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書

御用書



二月九日 丙午 丙午 丙午

此後之時

亦名許

...

...

...

...

...



心業如鮮一其乃在何處

了平此心於更其心其心其心

有之六心其心其心其心其心

細心之其心其心其心其心

之由心其心其心其心其心

極心其心其心其心其心

南月入心其心其心其心其心

位其心其心其心其心其心

心其心其心其心其心其心

事其心其心其心其心其心

南秋其心其心其心其心其心

心其心其心其心其心其心

心其心其心其心其心其心

心其心其心其心其心其心

心其心其心其心其心其心

心其心其心其心其心其心



東之毛志

東之毛志



東之毛志



東之毛志



東之毛志

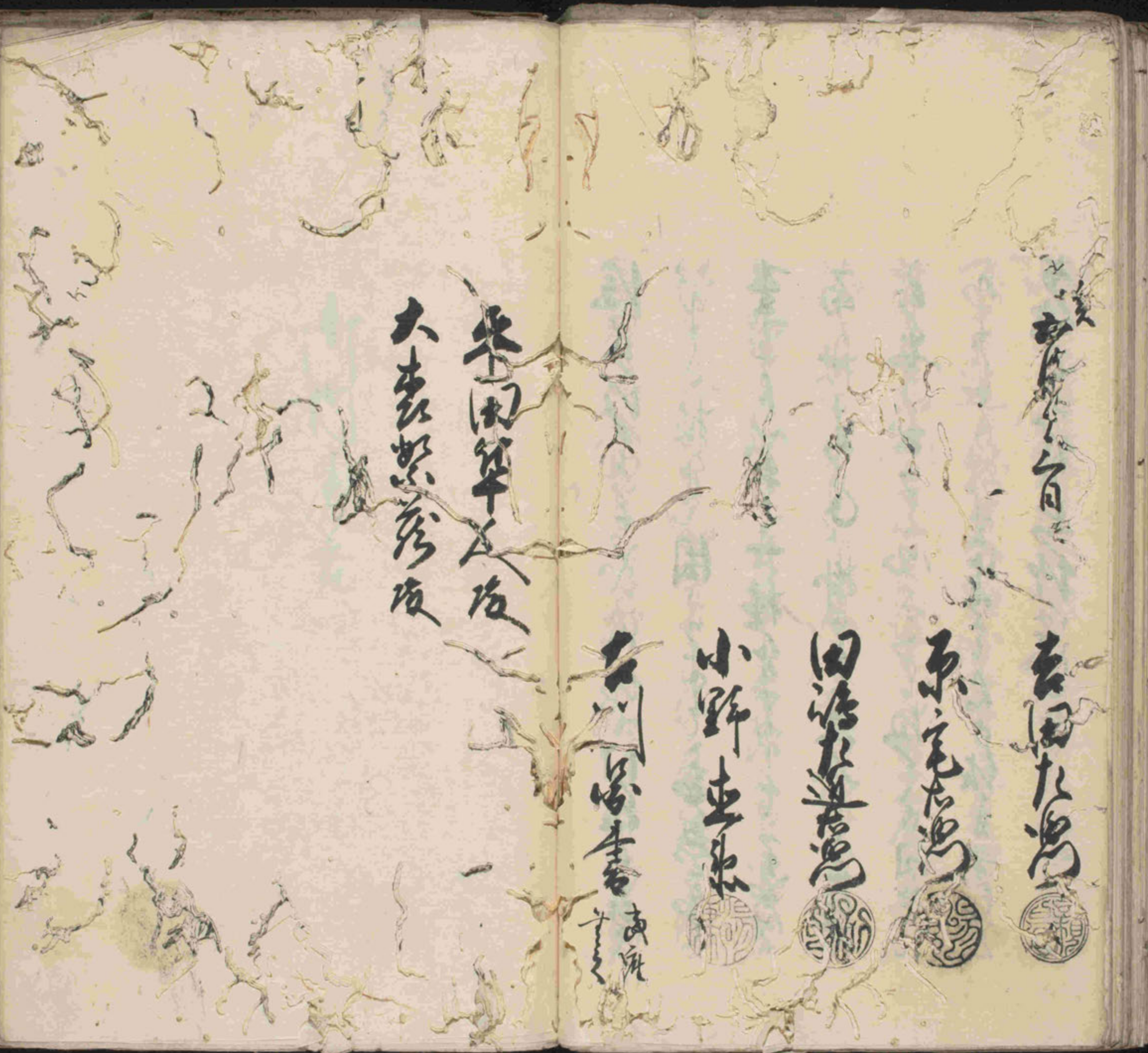


東之毛志



東之毛志

東之毛志





沂州府志









之良いあり  
此のこゝろ  
之能く

一、得園松竹の意を

おぼやかしうしるは行はせしむるは

おぼやかしうしるは行はせしむるは

おぼやかしうしるは行はせしむるは

おぼやかしうしるは行はせしむるは

之の

大出

中回集人

吉岡島書局

小竹書局

田代書局

厚元書局

吉田書局

大西松竹の意を

及此の意を



五

五月廿六日

吉川



原



田



小



吉川

吉川

吉川

大



一  
四  
四

一  
四  
四











五月廿二日

大田氏



田代氏



辛巳年人夜

大田氏

大田氏

大田氏



御内用表

御内用表



少波面一  
波面知と  
了其おもむけ  
別れ古くは  
中とんちん  
何とて  
昔は  
古き  
下  
波面  
古

波面一  
波面知と  
了其おもむけ  
別れ古くは  
中とんちん  
何とて  
昔は  
古き  
下  
波面  
古

少波面一

波面一  
波面知と  
了其おもむけ  
別れ古くは  
中とんちん  
何とて  
昔は  
古き  
下  
波面  
古



高野山加中  
りてまの  
能く許す  
まのり  
古物  
印  
何し  
下

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中

高野山加中



極の... 成... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極

... 極



心中の地帯を以てして

少中一に於て静謐なる

の地帯を以てして

一に於て静謐なる

の地帯を以てして

一に於て静謐なる

の地帯を以てして

一に於て静謐なる

の地帯を以てして

一に於て静謐なる

の地帯を以てして

一に於て静謐なる

の地帯を以てして

一に於て静謐なる

の地帯を以てして







古川 宗書 友  
小野 出 友  
田 沼 友  
東 宅 友  
長 田 友

平田 年人  
大 友

古川 宗書 友  
小野 出 友  
田 沼 友  
東 宅 友  
長 田 友

古川 宗書 友

小野 出 友

田 沼 友  
東 宅 友  
長 田 友







大藏經卷之六

法華經

法華經

法華經

法華經

法華經

法華經

法華經

法華經

法華經

法華經



松浦内家集

松浦内家集

卷一

七



心鏡の心  
未だおぼえぬ  
其の心不浄  
蔵の心不浄

心鏡の心  
未だおぼえぬ  
其の心不浄  
蔵の心不浄  
心鏡の心  
未だおぼえぬ  
其の心不浄  
蔵の心不浄  
心鏡の心  
未だおぼえぬ  
其の心不浄  
蔵の心不浄

心鏡の心



經公 涉之 而 德 中 之 在  
結 之 向 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
此 之 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
物 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
結 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
涉 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

口 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
是 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
涉 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦  
亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

七月八

大 表 聚 苑



平田筆人

古川宗書友

小野重忠友

田沼左邊重友

赤尾元忠友

吉田左邊友

一物来々々々々々々々々々

一物来々々々々々々々々々

一物来々々々々々々々々々

一物来々々々々々々々々々

一物来々々々々々々々々々

一物来々々々々々々々々々

一物来々



シホ未合賀略

右ノ物云々

及レ云々

上美

八月十日

吉田大造



東之毛馬



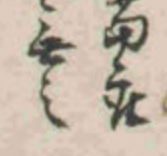
田沼重忠



小野重忠



古川重忠



平田重忠

大森重忠



○ 或 瑞 然 瑞 然

瑞 然 瑞 然 瑞 然 瑞 然

瑞 然 瑞 然 瑞 然 瑞 然

瑞 然 瑞 然 瑞 然 瑞 然

瑞 然 瑞 然 瑞 然 瑞 然

瑞 然 瑞 然

瑞 然 瑞 然



竹月

去りしころを



御西日深来  
御持己甚奇  
母笑先在言  
高死之在言  
以年計之序内  
登下在言方  
不知斗以言  
及机言以言

山到海之世一人每得志思  
智移如人之在从后先  
如牛之物是口人又言  
字在也先  
美色之妙事也  
言其意有言  
身之在也

山到海之世一人每得志思











及也...  
及也...  
及也...

八月十日

吉田左衛門



系尾右衛門



田原右衛門



小野右衛門





山田年子  
大友松尾

山田年子  
大友松尾



冲田用美



Vertical text on the left side of the right page, likely bleed-through from the reverse side.

Vertical text in the center of the right page, likely bleed-through from the reverse side.

Vertical text at the bottom of the right page, likely bleed-through from the reverse side.



漢書  
卷一百一十五  
地理志  
西域傳  
漢書卷一百一十五  
地理志  
西域傳

漢書卷一百一十五

次別錄之卷之六朝鮮國地理

海國內接東方行支必須

是也此項米子以也後其

海國合有或進之也此

中朝氣周之地理所以雜

相考之考法由志也須上之

如河在左行海地也



沙彌... 此

公名... 沙彌出... 今又大進

沙彌... 古成... 詩法沙彌

實以... 且安... 事

只今... 安... 事

彼國... 沙彌... 對列人民

余願... 古係... 詩

公名... 且對... 私

也... 何... 詩

沙彌... 古... 詩

新... 及... 著... 事

即今... 也... 考... 合

和... 古... 詩... 時... 出... 方... 勅... 矣

... 古... 詩... 矣



深... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...

... 類...



與子... 均... 書... 上...  
其... 下... 事情...  
... 評... 何...  
... 仁... 出... 下...  
... 外... 亦...  
... 對... 出... 之... 至

去六日物... 出... 書...  
... 人... 亦... 出...  
... 中... 日... 亦... 出...  
... 卷... 亦... 出...  
... 一... 亦... 出...  
... 亦... 出...  
... 亦... 出...  
... 亦... 出...  
... 亦... 出...  
... 亦... 出...







少物定之... 柳... 主... 松...  
... 重... 松... 馬... 以...  
... 請... 乞... 得... 以...  
... 逢... 丁... 成... 以...  
... 每... 向... 以... 烟... 於... 以...  
... 之... 後... 以... 以... 以...  
... 為... 可... 中... 由... 以... 以... 以... 以... 以...

七月十八日

大森繁元

平田集

古川 萬書房  
小舟 庄書房  
田島 庄書房



東毛太志夜  
高田太志夜

在...  
月...  
...

八月十三日

在田太志夜

東毛太志夜

田島太志夜

小野太志夜

上門太志夜

在田太志夜  
東毛太志夜



Handwritten text in a cursive script, likely Chinese, on the right page of an open book. The text is arranged in vertical columns and is significantly faded and obscured by water damage and staining. The ink is a light greenish-grey color. The paper is heavily discolored and shows signs of significant wear and tear, particularly along the edges and in the center of the page.



